

2018年11月1日

課題名：当院における急性喉頭蓋炎の治療状況について

◆研究の目的と概要◆

当院では、過去に急性喉頭蓋炎になった患者さんの治療状況を調べることによって急性喉頭蓋炎の適切な治療法を検討し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2008年11月から、2018年10月までの間に、急性喉頭蓋炎であると診断された方。

◆研究に使用される情報・試料◆

年齢、性別、初診時症状、当院の受診方法（救急搬送等）、喫煙歴、血液検査、画像検査、既往歴、当院での治療経過（気管挿管や気管切開などの気道確保、抗菌薬投与）、転帰（生存退院/死亡退院）

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

耳鼻咽喉科・頭頸部外科 研究責任者 藤原崇志

E-mail： kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明